

(様式例第11)



厚病第419号
令和7年7月31日

鳥取県知事 様

住 所 倉吉市東昭和町150
申請者 氏 名 鳥取県立厚生病院長
花 木 啓一



鳥取県立厚生病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
氏名	鳥取県

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鳥取県立厚生病院

3 所在の場所

〒682-0804 倉吉市東昭和町150	電話(0858)22-8181
-------------------------	-----------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	4床	床	床	300床	304床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器、生体情報モニタ、除細動器、医療ガス、心電計、超音波診断装置 ベッドサイドモニタ 他 病床数 10床
化学検査室	(主な設備) 生化学分析装置、血液ガス分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、アンモニア測定装置、全自動血液凝固測定装置、全自動輸血検査装置 他
細菌検査室	(主な設備) 血液培養装置、生物顕微鏡、高圧蒸気滅菌器 他
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置、自動封入装置、凍結切片作成装置、包埋ブロック作製装置、自動包埋装置 他
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器撮影装置 他
研究室	(主な設備) シャーカステン、プロジェクター 他
講義室	室数 1室 収容定員 108人
図書室	室数 1室 蔵書数 33,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素ボンベ、ストレッチャー、モニター 他 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 8.81㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率		107.0%	算定 期間	令和6年4月1日～令和7 年3月31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		94.3%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			8,744人	
	B：初診患者の数			8,170人	
	C：逆紹介患者の数			7,707人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況
別紙のとおり

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	10床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	205.81㎡	(主な設備)人工呼吸器、生体情報モニタ、除細動器、医療ガス、心電計、ベッドサイドモニタ 他	可
手術センター	1,221.25㎡	(主な設備)全身麻酔器、生体情報モニタ、除細動器、医療ガス、超音波診断装置、電気メス、手術用顕微鏡、ポータブルレントゲン 他	可
集中治療室	382.35㎡	(主な設備)人工呼吸器、生体情報モニタ、除細動器、医療ガス、心電計、超音波診断装置 ベッドサイドモニタ 他	可
中央放射線室	1,444.34㎡	(主な設備)磁気共鳴撮影装置、コンピュータ断層撮影装置、心臓血管撮影装置、デジタルX線テレビ装置 他	可
中央検査室	418.54㎡	(主な設備)生化学分析装置、血液ガス分析装置、アンモニア測定装置、全自動血液凝固測定装置、全自動輸血検査装置、血液培養装置 他	可

4 備考

救急病院認定(有効期限:令和8年2月19日)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	2, 8 3 0人 (1, 3 9 1人)
上記以外の救急患者の数	15, 2 7 0人 (1, 2 6 6人)
合計	18, 1 0 0人 (2, 6 5 7人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- 1 開放病床利用(令和6年4月1日～令和7年3月31日)
 - ・患者数 6名
 - ・利用医療機関延べ数 1件(藤井政雄記念病院)
 - ・共同利用病床利用率 0.4%(延べ16床/10床×365日)
- 2 医療機器の共同利用状況
 - ・利用実績なし

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ・開放病床に係る病室(常時共同利用可能な病床 10床)
- ・医用画像診断装置(CT、MRI)等

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: 地域連携センター
職種: 看護師

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

10床

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	32回
(2) (1) の合計研修者数	635人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無
 イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	脳神経外科		38年	教育責任者
	医師	消化器外科		37年	
	医師	消化器内科		29年	
	医師	循環器内科		38年	
	医師	不整脈内科		33年	
	医師	内科		19年	
	医師	呼吸器内科		18年	
	医師	脳神経内科		14年	
	医師	血管外科		29年	
	医師	胸部外科		17年	
	医師	整形外科		19年	
	医師	小児科		22年	
	医師	産婦人科		21年	
	医師	放射線科		22年	

看護師	看護局	27年	緩和ケア認定看護師
看護師	看護局	26年	がん化学療法看護認定看護師
看護師	看護局	20年	感染管理認定看護師
看護師	看護局	37年	集中ケア認定看護師
看護師	看護局	27年	がん化学療法看護認定看護師
看護師	看護局	21年	感染管理認定看護師
看護師	看護局	21年	救急看護認定看護師
看護師	看護局	24年	糖尿病看護認定看護師
看護師	看護局	17年	認知症看護認定看護師
看護師	看護局	24年	がん性疼痛看護認定看護師
看護師	看護局	25年	皮膚・排尿ケア認定看護師
看護師	看護局	25年	認知症看護認定看護師
看護師	看護局	17年	クリティカル看護認定看護師
看護師	看護局	23年	摂食嚥下障害看護認定看護師

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
大会議室	161.66㎡	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、パソコン、マイク、スピーカー、ホワイトボード、机、椅子、顕微鏡
第1会議室	29.21㎡	(主な設備) プロジェクター用スクリーン、机、椅子、電子カルテ
第2会議室	23.34㎡	(主な設備) 机、椅子、電子カルテ
第3会議室	36.21㎡	(主な設備) プロジェクター用スクリーン、机、椅子、電子カルテ
看護研修室	42.02㎡	(主な設備) 机、椅子、テレビ会議システム、電子カルテ 他
研修医指導室	30.13㎡	(主な設備) 机、椅子、プロジェクター、スクリーン、電子カルテ 他
図書室	138.87㎡	(主な設備) 机、椅子、電子カルテ、書架 他

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務局長
管理担当者氏名	事務局副局長

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		看護局 医療情報管理室	管理日誌（看護部・病棟・外来等） 総合医療情報システム（電子カルテ）にて患者単位に分類保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携センター	リスト作成し台帳管理
	救急医療の提供の実績	医事課	電子カルテのデータ・ウェアハウスから抽出しデータ管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課	リスト作成し台帳管理
	閲覧実績	総務課	リスト作成し台帳管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	電子カルテのデータ・ウェアハウスから抽出しデータ管理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	病院長 花木 啓一
閲覧担当者氏名	事務局 副局長
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 ・ 鳥取県立厚生病院オープンシステム実施要項、鳥取県立厚生病院診療録等管理規定に基づき、診療に関連する情報の閲覧および複写を行っている。	

前年度の総閲覧件数		〇件
閲覧者別	医師	〇件
	歯科医師	〇件
	地方公共団体	〇件
	その他	〇件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
・紹介率・逆紹介率の状況 ・救急医療の提供 ・共同利用の実績 ・患者相談の実績 ・地域連携を促進するための取組み ・研修の実施状況		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・患者支援棟相談室 その他（地域連携センター）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	地域連携センター 医療ソーシャルワーカー 5名 看護師 5名 がん相談支援センター がん性疼痛看護認定看護師 1名 がん化学療法看護認定看護師 1名 臨床心理士 1名 看護師 1名 患者相談窓口 看護師 1名
患者相談件数	14,546件
患者相談の概要	
※別紙参照 ① 令和6年度4月から 3月 医療福祉相談 ② 令和6年度4月から 3月 がん相談件数 ③ 令和6年度4月から 3月 苦情・通訳等の件数	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 (財) 日本医療機能評価機構 一般病院 2 <3rdG: Ver. 2.0> 令和 4 年 4 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	(有) 無
・情報発信の方法、内容等の概要 情報発信の方法: ホームページ、チラシ折込み 等 地域医療従事者を対象とした研修の開催: 健康公開講座、ランチタイムセミナー 等 広報誌の発行: 病院だより、すずかけサロンだより、業績集 等	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有 無
・退院調整部門の概要 円滑な転院や在宅復帰を見据えて、MSWや退院調整看護師などの他職種の職員が地域の医療・介護福祉関係者と連携して退院に向けた支援を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有 無
1) 地域連携クリティカルパスの策定 (1) 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ① 5大がん地域連携クリティカルパス (肺がん・乳がん・胃がん・大腸がん・肝がん) ② 脳卒中地域連携クリティカルパス (2) 地域連携クリティカルパスの普及を図る取組み ① 脳卒中パス連携協議会の開催 ・第2回脳卒中連携協議会 11月20日(水) 午後7時から午後8時30分 (会場参加・ライブ配信) ・第1回地域づくりしよいの会と共同開催 活動報告「リハビリで地域貢献を目指す清水病院の取り組み」 医療法人共済会清水病院 副院長 氏 地域連携室 氏 グループワーク「活動報告を聞いて感じたこと」	

②令和6年度循環器病に関する講演会・研修会

地域の住民、医療関係者に当院の取り組みを報告した

○一般県民向け講演会 *脳血管疾患・心疾患合同

地域の住民、医療関係者に当院の取り組みを報告した

1月24日(火)13時から16時 会場:新日本海新聞社中ホール

演題:脳卒中のリハビリテーション

鳥取県立厚生病院 リハビリテーション室

作業療法士

副室長

○多職種連携研修会

12月7日(土)12時から17時 メイン会場:鳥取医師会館

中部サブ会場:エースバック未来中心会議室

演題:脳卒中における多職種連携 ~MSWの視点から~

鳥取県立厚生病院 地域連携センター

医療ソーシャルワーカー

副主幹

○脳卒中クリティカルパス 24件(令和5年度 23件)

5大がん地域連携クリティカルパスの運用

・本年度は毎月のパス運用件数を関連部署と共有し運用件数を増やすことを目標とし、隔月に関係部署に件数報告した。

・5大がん地域連携クリティカルパス運用件数

	大腸	胃	肝臓	肺	乳	合計
R6年度(年間)	8	14	0	24	27	73
R5年度(年間)	4	9	0	30	24	75

③ホームページの活用

5大がん及び脳卒中地域連携クリティカルパスは、鳥取県中部医師会のホームページに掲載している。

2)地域医療機関との連携の促進

(1)地域医療機関への訪問

①訪問実績なし 地域の研修会、4士会等での連携促進

②日々の業務で連携を意識しながら、迅速・丁寧に地域の医療機関や介護福祉施設等と情報共有し転院・退院調整を継続している。

(2)中部圏地域づくりしよいの会について

日時:令和7年2月27日(木)19時~20時30分 エースバック未来中心

内容:講演 演題:「ACP普及啓発の現状と課題」

国民健康保険智頭病院 院長 足立 誠司 先生

グループワーク:テーマ「活動報告を聞いて感じたこと」

センター長自身が座長を務め、有効な会になるようグループワークでは当院スタッフが他施設と積極的に情報共有した。ACPIについてまとめてある「私のノート」が有効に活用できていない要因の一つに、医療関係者にその周知がされていないことがわかった。今後、ノートを有効活用し、現在、1市4町で共通の「私のノート」が有効に活用できていない現状がある。今後ACPの理解が深まるような広報をしていくことから始めていく。

(3)医療的ケア児支援の取り組み

18歳以下の医療型ショートステイ(日帰り)の実績はなかった。

*鳥取県医療的ケア児等支援センター中部相談窓口(鳥取県立中部療育園)とは連携し

情報共有しており、当院の医療的ケア児に関することは院内で対応できている。

支援会議で情報共有するケースがある。

(4)地域の医療福祉関係者向け研修会の企画・運営について

①心不全セミナー(5月・7月・9月・11月・1月・3月) 院外参加者 55名(対面・WEB)

②鳥取県立厚生病院 緩和ケア研修(12月)11名参加。院外参加者 1名(看護師)

令和6年度院外の医療関係者研修参加人数: 合計 90名

(5)退院支援の取り組み

①在宅への退院促進を目的に退院前後訪問、訪問看護師同行を実施している。

当院の多職種、院外の医療関係者などで訪問している。今年度は、退院前・ご訪問件数県中87件中訪問看護指導行訪問は18件(R5年度26件/年)であった。訪問看護師に対して直接医療やケアの提供を実施し、在宅での療養支援を実践した。

昨年度に比較し件数は減少しているが、退院前カンファレンスの充実、退院支援委員会での困難事例の検討、院内の訪問報告会での事例報告など退院支援に関する学習機会を増やすことで、支援、調整の質が上がってきている。

年度別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
令和6年度	13	9	13	7	4	5
令和5年度	7	7	16	11	10	12

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	11	3	4	2	4	87
9	7	4	7	4	5	105

②患者、家族の意思決定に寄り添い、在宅で過ごしたいという思いや看取りについて取り組んでいる。訪問診療を実践しておられる診療所の医師、訪問看護師と連携している。

(6) コロナウイルス感染の後遺症に対する相談窓口について

令和6年度 2件(令和5年度 5件)

相談内容: 倦怠感、食欲不振、やる気が出ない、味覚異常、異臭

(7) コロナ感染症の入院にかかる連絡窓口について

連絡窓口が対応したコロナ感染症入院患者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Ⅱ以上	1	1	5		3	3	2	2	1	1	1		20
Ⅱ以上と基礎疾患	4	1	2	5	9				1	1	1	1	27
Ⅱ未満	1			1	2	2		1			1		8
合計	6	2	7	6	14	5	2	3	2	2	3		55

(8) マルトリートメント関連について

マルトリートメントに関連した医療関係者、行政、学校との連携、小児虐待疑い、特定妊婦要対協など地域の医療関係者や市町村、児童相談所などと連携するケースが増えているためセンター内の多職種でMSW、看護師で対応している。

令和6年度 中部地区小児マルトリートメント連絡会を児童相談所主催で開催

日時: 令和7年1月10日(金)15時から16時 会場: 当院第1・2会議室

参加者: 倉吉市子ども家庭課・三朝町民課・湯梨浜町子育て支援課・琴浦町役場子育て応援課・北栄町教育総務課・倉吉児童相談所・鳥取県立厚生病院 (計21名)

内容: ・中部地区小児マルトリートメント連絡会設置・開催要項の確認

・中部圏域における医療機関と行政機関との連携について

・フローチャートの確認

当院、児童相談所、1市4町の関係者が介して上記の内容について検討した。今後、困難事例や振り返りが必要な事例がある場合、会議を要請していく。

マルメトリー対応年度別件数実績

	延べ件数	実患者数	延べ患者数
R6年度	1158	568	1056
R5年度	1099	417	975

(9) 更年期障がい相談窓口

R6年度相談件数 男性3名 女性20名 合計23名(令和5年度 12名)

(10) 在宅療養後方支援病院の取り組み

・令和5年5月から在宅で療養されている患者が緊急の入院治療が必要となった場合においてスムーズな受診・入院ができるよう、在宅診療される、かかりつけ医との間であらかじめ体制を調整した。

・連携医療機関: 5診療所

令和6年度実績: 新規登録者 9名 入院実績 6名 (実患者数 20名)

(11) 産後ケアの取り組み

令和6年4月から2階病棟(産婦人科病棟)において「母子ショートステイ(宿泊型)」・

10月からデイサービス(日帰り型)」を開始した。

実績: ショートステイ 12件

デイサービス 7件

3) 医科歯科連携の促進

令和6年度がん診療医科歯科連携は、192件(令和5年度213件)、その他がん以外の連携は254件(令和5年度227件)で合計446件(令和5年度440件)である。

中部歯科医師会 地域歯科医療連携室との連携 16件 (令和5年度11件)

4) 医科薬科連携の促進

(1) 予定入院患者の持参薬整理の促進

令和6年度225件、予定入院患者の9.8%で実施された。

(令和5年度は190件、予定入院患者の10.2%)

(2) 残薬整理の促進

令和6年度 205件

(3)在宅へ退院する患者への支援

訪問薬剤管理指導について、情報交換しながら連携している。

(様式例第13の1) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤	38.75 時間	
2	医師		常勤	"	
3	医師		常勤	"	
4	医師		常勤	"	
5	医師		常勤	"	
6	医師		常勤	"	
7	医師		常勤	"	
8	医師		常勤	"	
9	医師		常勤	"	
10	医師		常勤	"	
11	医師		常勤	"	
12	医師		常勤	"	
13	医師		常勤	"	
14	医師		常勤	"	
15	医師		常勤	"	
16	医師		常勤	"	
17	医師		常勤	"	
18	医師		常勤	"	
19	医師		常勤	"	
20	医師		常勤	"	
21	医師		常勤	"	
22	医師		常勤	"	
23	医師		常勤	"	
24	医師		常勤	"	
25	医師		常勤	"	
26	医師		常勤	"	
27	医師		常勤	"	
28	医師		常勤	"	
29	医師		常勤	"	
30	医師		常勤	"	
31	医師		常勤	"	
32	医師		常勤	"	
33	医師		常勤	"	

34	醫師	常勤	"	
35	醫師	常勤	"	
36	醫師	常勤	"	
37	醫師	常勤	"	
38	醫師	常勤	"	
39	醫師	常勤	"	
40	醫師	常勤	"	
41	醫師	常勤	"	
42	醫師	常勤	"	
43	醫師	常勤	"	
44	醫師	常勤	"	
45	醫師	常勤	"	
46	醫師	常勤	"	
1	放射線技師	常勤	"	
2	放射線技師	常勤	"	
3	放射線技師	常勤	"	
4	放射線技師	常勤	"	
5	放射線技師	常勤	"	
6	放射線技師	常勤	"	
7	放射線技師	常勤	"	
8	放射線技師	常勤	"	
9	放射線技師	常勤	"	
10	放射線技師	常勤	"	
11	放射線技師	常勤	"	
12	放射線技師	常勤	"	
13	放射線技師	常勤	"	
14	放射線技師	常勤	"	
1	検査技師	常勤	"	
2	検査技師	常勤	"	
3	検査技師	常勤	"	
4	検査技師	常勤	"	
5	検査技師	常勤	"	
6	検査技師	常勤	"	
7	検査技師	常勤	"	
8	検査技師	常勤	"	
9	検査技師	常勤	"	
10	検査技師	常勤	"	

11	検査技師		常勤	"	
12	検査技師		常勤	"	
13	検査技師		常勤	"	
14	検査技師		常勤	"	
1	薬剤師		常勤	"	
2	薬剤師		常勤	"	
3	薬剤師		常勤	"	
4	薬剤師		常勤	"	
5	薬剤師		常勤	"	
6	薬剤師		常勤	"	
7	薬剤師		常勤	"	
8	薬剤師		常勤	"	
9	薬剤師		常勤	"	
10	薬剤師		常勤	"	
11	薬剤師		常勤	"	
12	薬剤師		常勤	"	
13	薬剤師		常勤	"	
14	薬剤師		常勤	"	
1	看護師		常勤	"	
2	看護師		常勤	"	
3	看護師		常勤	"	
4	看護師		常勤	"	
5	看護師		常勤	"	
6	看護師		常勤	"	
7	看護師		常勤	"	
8	看護師		常勤	"	
9	看護師		常勤	"	
10	看護師		常勤	"	
11	看護師		常勤	"	
12	看護師		常勤	"	
13	看護師		常勤	"	
14	看護師		常勤	"	
15	看護師		常勤	"	
16	看護師		常勤	"	
17	看護師		常勤	"	
18	看護師		常勤	"	
19	看護師		常勤	"	

20	看護師		常勤	"	
21	看護師		常勤	"	
22	看護師		常勤	"	
23	看護師		常勤	"	
24	看護師		常勤	"	
25	看護師		常勤	"	
26	看護師		常勤	"	
27	看護師		常勤	"	
28	看護師		常勤	"	
29	看護師		常勤	"	
30	看護師		常勤	"	
31	看護師		常勤	"	
32	看護師		常勤	"	
33	看護師		常勤	"	
34	看護師		常勤	"	
35	看護師		常勤	"	
36	看護師		常勤	"	
37	看護師		常勤	"	
38	看護師		常勤	"	
39	看護師		常勤	"	
40	看護師		常勤	"	
41	看護師		常勤	"	
42	看護師		常勤	"	
43	看護師		常勤	"	
44	看護師		常勤	"	
45	看護師		常勤	"	
46	看護師		常勤	"	
47	看護師		常勤	"	
48	看護師		常勤	"	
49	看護師		常勤	"	
50	看護師		常勤	"	
51	看護師		常勤	"	
52	看護師		常勤	"	
53	看護師		常勤	"	
54	看護師		常勤	"	
55	看護師		常勤	"	
56	看護師		常勤	"	

57	看護師		常勤	"	
58	看護師		常勤	"	
59	看護師		常勤	"	
60	看護師		常勤	"	
61	看護師		常勤	"	
62	看護師		常勤	"	
63	看護師		常勤	"	
64	看護師		常勤	"	
65	看護師		常勤	"	
66	看護師		常勤	"	
67	看護師		常勤	"	
68	看護師		常勤	"	
69	看護師		常勤	"	
70	看護師		常勤	"	
71	看護師		常勤	"	
72	看護師		常勤	"	
73	看護師		常勤	"	
74	看護師		常勤	"	
75	看護師		常勤	"	
76	看護師		常勤	"	
77	看護師		常勤	"	
78	看護師		常勤	"	
79	看護師		常勤	"	
80	看護師		常勤	"	
81	看護師		常勤	"	
82	看護師		常勤	"	
83	看護師		常勤	"	
84	看護師		常勤	"	
85	看護師		常勤	"	
86	看護師		常勤	"	
87	看護師		常勤	"	
88	看護師		常勤	"	
89	看護師		常勤	"	
90	看護師		常勤	"	
91	看護師		常勤	"	
92	看護師		常勤	"	
93	看護師		常勤	"	

94	看護師	常勤	"	
95	看護師	常勤	"	
96	看護師	常勤	"	
97	看護師	常勤	"	
98	看護師	常勤	"	
99	看護師	常勤	"	
100	看護師	常勤	"	
101	看護師	常勤	"	
102	看護師	常勤	"	
103	看護師	常勤	"	
104	看護師	常勤	"	
105	看護師	常勤	"	
106	看護師	常勤	"	
107	看護師	常勤	"	
108	看護師	常勤	"	
109	看護師	常勤	"	
110	看護師	常勤	"	
111	看護師	常勤	"	
112	看護師	常勤	"	
113	看護師	常勤	"	
114	看護師	常勤	"	
115	看護師	常勤	"	
116	看護師	常勤	"	

(改正後全文)

鳥取県立厚生病院共同利用規程

(目的)

第1条 この規程は、鳥取県立厚生病院（以下「厚生病院」という。）が鳥取県中部保健医療圏（以下「中部医療圏」という。）における地域医療の支援を目指し、医療提供の効率化と医療の質の向上に向けて、患者中心の一貫性のある医療提供と地域医療従事者の生涯研修に貢献すべく、病院の施設及び設備の開放を可能とし、地域医療の更なる充実と発展に寄与することを目的とし、必要な事項を定めるものとする。

(共同利用)

第2条 厚生病院は、中部医療圏における全ての医師、歯科医師に対する医療機器の共同利用のために施設及び設備を開放する。その際、厚生病院及びその職員は、医療機器の共同利用に関する活動を支援し、かつ、便宜を図るものとする。

2 共同利用に係る医療機器は、CT、MRI、血管造影X線診断装置等とする。

3 前項の運用については、鳥取県立厚生病院において別に定める。

(研修)

第3条 厚生病院は、中部医療圏における医療従事者の研修活動を支援するものとする。

(1) 医師及び歯科医師に対し、院内研究会、研修会及び院内講演会等への参加の機会を設け、医療についての質的向上に資するものとする。

(2) 看護職及び医療職等の医療従事者に対し、実務研修会等の機会を設け、看護、リハビリテーション及び介護等についての質的向上に資するものとする。

(3) 各医療機関の事務職に対し、保険請求事務及び業務改善等に関する研修の機会を設け、医療機関経営の改善及び合理化などの事務的業務についての質的向上に資するものとする。

(図書館の共同利用)

第4条 厚生病院は、中部医療圏における医療従事者に対し、診察、研究及び教育を支援するため、図書の閲覧及び必要に応じた資料や情報の提供を行うものとする。

(利用手続)

第5条 厚生病院の施設及び設備の利用は、事前に地域連携センターに連絡し、承認を受けるものとする。

附 則

この規程は、平成29年10月23日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年10月27日から施行する。

(様式例第14の4)

登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療 支援病院 開設者との 経営上の 関係
安梅医院	安梅 正則	倉吉市関金町大鳥居215-1	内	無
音田内科	音田 正樹	倉吉市東町435	内	無
中本内科医院	中本 健太郎	東伯郡琴浦町八橋1740	内	無
野島病院	西本 和彦	倉吉市瀬崎町2714-1	内・外	無
新田内科クリニック	新田 辰雄	倉吉市生田360-1	内	無
倉吉シティ内視鏡クリニック	藤井 武親	倉吉市伊木215-3	内	無
まつだ小児科医院	松田 隆	倉吉市新町3丁目1178	小	無
レディースクリニックひまわり小笹産婦人科	小笹 昭博	倉吉市南昭和町27-1	産	無
レディースクリニックひまわり小笹産婦人科	小笹 貴子	倉吉市南昭和町27-1	産	無
打吹公園クリニック	井奥 研爾	倉吉市仲ノ町770	産婦	無
岡田医院	岡田 耕一郎	東伯郡琴浦町徳万176-2	内・外	無
あけしまレディースクリニック	明島 亮二	倉吉市幸町507-18	産婦	無
森広眼科	森廣 敬一	倉吉市上井町1丁目156-4	眼科	無
大津医院	大津 敬一	倉吉市福吉町1389-5	内	無
谷口病院	佐伯 英明	倉吉市上井町1丁目13	泌・内	無
宮川医院	宮川 秀人	東伯郡北栄町瀬戸45-2	内	無
はしもと整形外科	橋本 達宏	倉吉市宮川町176-11	整	無
みらい内科クリニック	山本 了	倉吉市昭和町2丁目233	内	無
倉吉シティ内視鏡クリニック	樽本 亮平	倉吉市伊木215-3	内	無
藤井政雄記念病院	藤井 教雄	倉吉市山根43-1	内	無
倉吉シティ内視鏡クリニック	藤井 政至	倉吉市伊木215-3	内	無

令和6年度 当院主催研修会・症例検討会 実績
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

No.	開催日	名称	内容	開催場所	担当部署	院外参加者	総人数	うち院外
1	4月12日	ランチョタイムセミナー	研修会 (患者の視点から)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	11	3
2	4月26日	ランチョタイムセミナー	研修会 (高齢者の住まい)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	28	3
3	5月9日	心不全セミナー	研修会	大会議室	地域連携センター	垣田病院、せいわ、香土外、脳神経外科	36	15
4	5月10日	ランチョタイムセミナー	研修会 (日本に残った症例火神)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	25	3
5	5月24日	ランチョタイムセミナー	研修会 (外科的気道確保の判断と実習)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	31	3
6	5月29日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	せいわ、老健のじま、三花園	15	3
7	6月14日	ランチョタイムセミナー	研修会 (泌尿器科領域のEmergency)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	20	3
8	6月27日	ランチョタイムセミナー	研修会 (大動脈解離の初期対応)	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	16	3
9	7月11日	心不全セミナー	研修会	大会議室	地域連携センター	垣田病院、北湖病院、香土外、脳神経外科	26	7
10	7月31日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	3	3
11	9月13日	ランチョタイムセミナー	研修会 (OPC講習会 (感染症))	大会議室	臨床研修・教育センター	医学生	15	2
12	9月18日	心不全セミナー	研修会	大会議室	地域連携センター	垣田病院	18	6
13	9月19日	ランチョタイムセミナー	研修会 (妊婦と分娩前)	大会議室	臨床研修・教育センター	訪問看護野島、香土外、脳神経外科、訪問看護せいわ	38	9
14	10月4日	ランチョタイムセミナー	研修会 (てんかんの基礎と臨床の読み方)	大会議室	臨床研修・教育センター	看護学生	31	11
15	10月10日	ランチョタイムセミナー	研修会 (緊急外来消化器疾患 (上消化管))	大会議室	臨床研修・教育センター		16	0
16	11月1日	ランチョタイムセミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター		18	0
17	11月20日	心不全セミナー	研修会	大会議室	地域連携センター	当院内科、香土外科、脳神経外科、訪問看護せいわ	19	3
18	11月21日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	介護老人保健施設ル・オアシス	17	1
19	11月29日	ランチョタイムセミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター		55	0
20	12月16日	ランチョタイムセミナー	胆・膵疾患の初期診察	大会議室	臨床研修・教育センター		15	0
21	12月27日	ランチョタイムセミナー	画像読影のポイント	大会議室	臨床研修・教育センター		18	0
22	1月22日	ランチョタイムセミナー	研修会 (印象に残った症例と考察)	大会議室	臨床研修・教育センター		12	0
23	1月23日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	訪問看護ステーションひまわり	17	2
24	1月24日	ランチョタイムセミナー	研修会 (印象に残った症例と考察)	大会議室	臨床研修・教育センター		12	0
25	1月29日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	訪問看護ステーションせいわ	12	1
26	2月7日	ランチョタイムセミナー	がん化学療法における	大会議室	臨床研修・教育センター		16	0
27	2月14日	ランチョタイムセミナー	印象に残った症例と考察	大会議室	臨床研修・教育センター		15	0
28	2月28日	ランチョタイムセミナー	印象に残った症例と考察	大会議室	臨床研修・教育センター		15	0
29	3月13日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	訪問看護ステーションせいわ	27	4
30	3月14日	ランチョタイムセミナー	印象に残った症例と考察	大会議室	臨床研修・教育センター		13	0
31	3月19日	心不全セミナー	研修会	大会議室	臨床研修・教育センター	訪問看護ステーションせいわ	11	1
32	3月28日	ランチョタイムセミナー	印象に残った症例と考察	大会議室	臨床研修・教育センター		15	0

①医療福祉相談件数(令和6年度)【地域連携センター】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6年度	5年度 (3月末)
1.入院患者・生活援助他	562	648	482	524	475	431	601	492	549	531	387	506	6,188	5,911
2.退院援助(転院・施設入所・在宅療養)	366	450	309	348	287	333	409	403	432	356	383	372	4,448	5,215
3.公的支援関連(介護保険・生活保護等)	252	305	182	180	161	179	247	213	271	238	253	256	2,737	3,246
4.外来患者・受診・在宅療養関連	69	74	78	74	72	55	50	52	75	77	76	91	843	897
5.医療費支払関連	15	8	9	7	4	5	7	3	4	9	2	1	74	67
6.その他	31	45	9	23	17	17	17	7	33	23	17	17	256	497
合計(延べ相談件数)	1,295	1,530	1,069	1,156	1,016	1,020	1,331	1,170	1,364	1,234	1,118	1,243	14,546	15,833
実相談患者人数	453	482	411	458	429	397	470	436	446	449	397	430	5,258	5,022
延べ相談患者数	1,055	1,211	873	981	845	851	1,088	982	1,133	1,024	933	1,044	12,020	12,461

*相談方法の内訳(12,020件):面談(2,942件)、電話(1,672件)、協議・カンファレンス(3,025件)、電話での調整・情報収集(4,313件)、その他・不明(68件)

②がん相談件数(令和6年度)【がん相談支援センター】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	6年度	5年度 (3月末)
1.告知・不安・精神的・苦痛	213	208	141	171	137	139	197	203	176	152	166	183	2,086	2,414
2.症状・副作用・後遺症	151	134	96	60	79	98	114	107	108	81	71	100	1,199	1,656
3.がんの治療・検査	108	131	86	118	77	76	118	106	113	104	99	102	1,238	1,376
4.社会生活・食事・運動など	78	69	63	78	49	36	53	54	44	69	100	63	756	1,234
5.人間関係・コミュニケーション	68	56	20	33	36	12	32	28	26	13	27	27	378	690
6.在宅医療	42	25	10	25	31	9	22	24	17	20	26	20	271	326
7.ホスピス・緩和ケア	58	38	44	37	15	17	37	56	12	8	18	38	378	495
8.転院・医療機関の紹介	23	18	20	6	17	10	4	10	2	0	1	1	112	191
9.医療費・社会保障制度	11	9	8	18	6	7	10	7	7	8	19	12	122	200
10.セカンドオピニオン	2	5	1	0	3	4	1	1	3	2	1	4	27	33
11.受診方法・入院	44	22	25	11	18	28	18	27	4	0	10	24	231	395
12.その他	81	55	32	37	23	23	44	24	21	20	31	28	419	648
合計(延べ相談件数)	879	770	546	594	491	459	650	647	533	477	569	604	7,219	9,658
実相談患者人数	122	119	109	120	103	104	134	131	111	103	117	123	1,396	1,485
延べ相談患者数	307	288	211	241	195	193	250	257	233	187	216	256	2,834	3,395

*相談方法の内訳(2,834件):面談(2,196件)、電話(579件)、その他(59件)

延べ相談件数:1回の相談に相談内容が複数ある場合があり、それぞれの相談内容を延べ件数としてカウントした数
 実相談患者人数:1人の患者が1か月内に複数回相談に来られることがあるが、1人としてカウントした数
 延べ相談患者数:1人の患者が複数回相談に来られた場合、それぞれの相談回数を延べ件数としてカウントした数

③苦情・通訳等の件数(令和6年度)【患者相談窓口】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	5年度 (3月末)
1.苦情(文書とメールを含む)	9	7	7	0	3	7	5	2	2	1	1	4	48	62
2.通訳	10	3	8	1	9	3	20	10	9	3	0	2	78	66
3.医療相談・電話相談	225	200	364	233	372	233	279	284	332	296	224	244	3,286	4,433
合計	244	210	379	234	384	243	287	246	343	300	225	250	3,345	4,557

*その他の中の医療相談については、地域連携センター・がん相談支援センターに引き継いだものは除いています



